



平成21年 7月23日
須坂市立森上小学校

1学期最後の授業参観

14日(火)の参観日には、大勢の保護者の皆様に来ていただき、子どもたちの頑張っている姿を参観いただきました。認められたり、応援してもらったりするだけで子どもたちの自尊感情も高まっていくものです。ありがとうございました。

1・2年生の廊下は、七夕の竹や風鈴が飾られて、とてもにぎやかな雰囲気の中での参観していただきました。

なお、この日、1年生の保護者の皆さんは、「親子レク」「親子給食」「栄養士さんの話」と盛りだくさんのメニューをこなしていました。



親子レクでの一場面

日食を観測しました

22日、日本では46年ぶりという日食が観測されました。小笠原では真っ黒い太陽が観測できたようですが、長野県では皆既日食にはなりませんでしたが、しかし、7割ほど欠けた太陽を専用のめがねで見たり、牛乳パックを活用した道具を使って写して観測したりと、実際に自分の目で見る事ができた天体ショーに感激している子どもたちの姿がありました。



晴れてよかったね

春の臥竜公園写生大会の 賞状がきました

金賞1、銀賞2、銅賞2、佳作7と頑張ってくれました。本日、子どもたちに校長室で賞状と副賞を手渡しました。

なお、銅賞までの5点は、しばらく校内に展示させていただきます。

右の写真は金賞受賞2年生の力強いタッチの作品です。



お祭りに思う

真夏のキラキラの太陽は、特に海辺にあっては、人々の気持ちを開放的にします。また、お祭りなどの華やかな場所では、つい気持ちが大きくなりがちです。人は、雰囲気では気持ちが大きく左右されてしまうことがよくあり、その結果過ちをおかしてしまうことも時にはあります。

さて、最近須坂市でも「第32回須坂カッタカタまつり」が行われました。子どもたちもたいへん楽しみにしていたので、雨模様の心配な一日でしたが、竜みこしが無事できたことを報告してくれた子がいて安心しました。

お祭りといえば、大人にとってはお酒は付きもので、お酒により気持ちが一層大きくなり、お祭り気分も高まるものと思っています。ただ困ったことに、つい子どもにも「お祭りだ、おまえも一杯飲め」と言ってしまう、お祭りの後、子どもたちから「飲めと言われ飲みました」ということをこれまで何回も聞いてきました。今回のお祭りでも、同様のことがあったようですが、「言われたけど、飲まなかった」という話を聞いて、偉いと思いました。大人の子どもへの飲酒の強要は一考を要しますね。



7月28日から8月19日まで夏休みです。

<森上小学校で見られる花> その26 ハス:蓮(ハス科)

蓮の花が咲き誇る極楽浄土、そんな世界を想像しながらこの花を眺めました。理科室南にある観察池に植えられており、レンコン畑の成長のよい姿とは違って、葉が展開した頃はかわいらしい「浮き葉」がほとんどで、水面に顔を出して天を仰いでいる葉が見られなかったのが、睡蓮なのかと思ったほどです。実は今は既に花はなく、蜂の巣に似た



た果実が二つだけ見られます。長年植え替えていないので衰弱もしており、今年は写真の花が二つだけ咲いてくれました。しかもほんのわずかの開花でした。

蓮は仏教とたいへんかかわりが深い花で、仏像が蓮の花の上に座っているお姿をよく見ます。「煩惱の泥の中に蓮の花を開く」と聞きますが、私にはまったく縁遠い話です。

(文責:校長 宮澤輝行)